

デジタルストロボスコープ

DT-311P (印刷機用汎用型)

DT-315P (印刷機用充電型)

取扱説明書

- ご購入機種をご確認のうえ、本取扱説明書に従ってご使用ください。
- 最初に使用される時は、充電を行ってください。(DT-315Pの場合)



この度は、弊社デジタルストロボスコープをお買い上げ頂き、誠に有難うございます。当製品の機能を十分に発揮させ、安全に末永くご使用頂くために、必ずご使用前に本取扱説明書をお読みください。

回転体や運動体にストロボの閃光を周期的に照射し、回転(運動)周期と閃光周期が一致した時、回転体の像は静止して見えます。ストロボスコープは、この静止像が見えた時の閃光周波数(FPM)に換算してデジタル表示を読み取る無接触式の回転速度計です。その他、閃光周期を可変して高速運動体の動作を静止させたり、ストップモーション観察が可能です。

運転、保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。

お使いになられる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

- ・運転、保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて熟読してからご使用してください。
- ・この取扱説明書では、注意事項を「危険」「警告」および「注意」として区分しています。いずれも安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。



危険

この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



警告

取扱いを誤った場合に、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。



注意

取扱いを誤った場合に、状況によっては重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

● 免責事項について

- ・本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- ・地震、当社に責任のない火災、第三者の行為、その他事故、お客様の故意または過失による誤用その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- ・保証規定については、付属の保証書をお読みください。

⚠ 危険



引火・爆発の危険のある雰囲気では使用しない
火災・発火の原因になります。

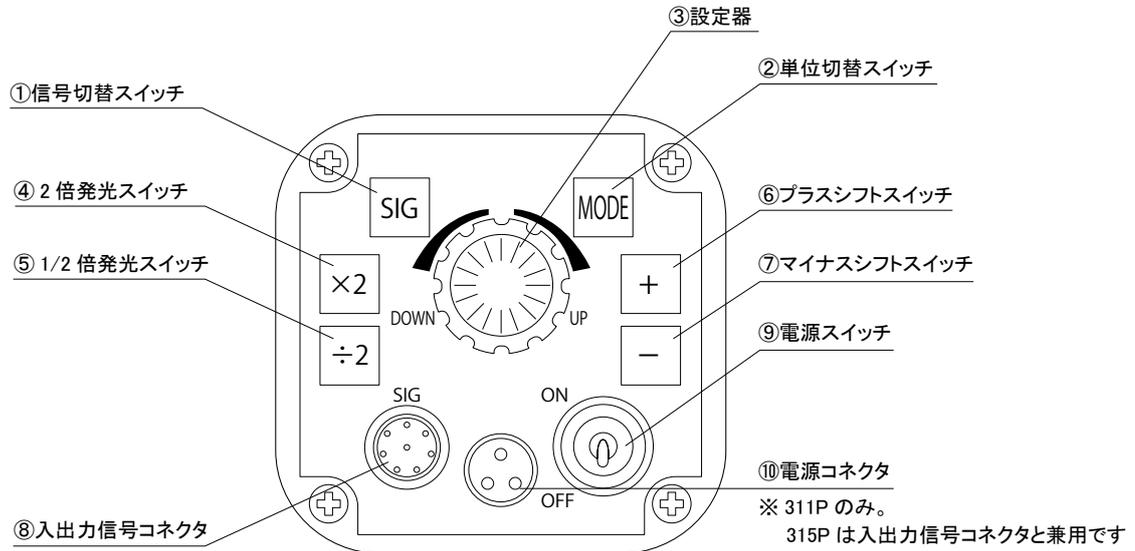


ランプの交換は、必ず電源コードを抜いてから行う。
充電型の場合
ランプの交換は、必ずバッテリーを抜いてから行う。
ランプの交換時に誤って発光すると、感電の恐れがあります。

 **注 意**

| | |
|--|---|
|  <p>ランプの交換は発光停止後 30 分 (ランプが冷えるまで) 経過してから行う 停止後すぐに交換すると、火傷を負う恐れがあります。</p> |  <p>AC100V 以外では充電および使用しない 火災・感電の原因になります。</p> |
|  <p>発光中はランプを直視しない 発光部は強力な光を発しますので、長時間直視すると視力を害する恐れがあります。</p> |  <p>強い衝撃を与えたり、落としたりしない 異常動作の原因になります。</p> |
|  <p>付属の AC アダプタ以外使用しない (DT-315P) 火災・感電の原因になります。</p> |  <p>AC アダプタまたは電源コードを濡れた手で 抜き挿ししない 感電や怪我の恐れがあります。</p> |
|  <p>電源コード損傷時やコンセントが暖かい時は使用しない 感電ショートの原因になります。</p> |  <p>AC アダプタでご使用の場合 使用後は、必ずコンセントから抜く 本体を取外しても、AC アダプタがコンセントに差し込まれた状態のままでは、電気が流れています。必ずコンセントから抜いておいてください。</p> |
|  <p>AC アダプタのコードを引っ張って抜かない コードが切れて感電の恐れがあります。</p> |  <p>AC アダプタのプラグの刃にほこりがついたまま使用しない 火災の原因になる恐れがあります。</p> |
|  <p>底部のグリップ取付用ネジ穴を利用して、三脚など他の機器に取付ける場合は、必ずカメラ三脚ネジ (1/4-20UNC、長さ 8mm 以下) を使用する</p> |  <p>分解したり、内部の基板等に触れない 感電の恐れがあります。</p> |
|  <p>以下の環境での使用、保管はしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防爆処理が必要な場所 ・ 水、油、薬品、ホコリ等のかかる場所 ・ 高温度 (40℃以上) になる場所 ・ 結露が発生する場所 |  <p>◆保証について◆ 本製品の保証対象は日本国内に限ります。海外にて使用設置される場合は、事前にその旨をご確認ください。</p> |

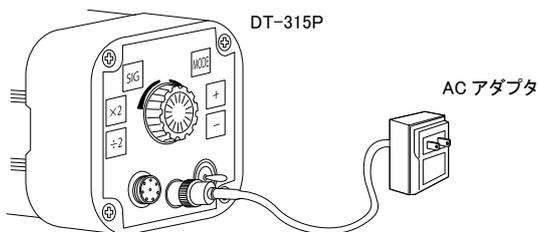
1. 操作パネル



| 各部名称 | 機能 |
|---------------------------------|---|
| ① 信号切替スイッチ | 内部信号、外部入力信号の切替スイッチで、押す毎に信号が切替わり、表示部の [INT]、[EX] の LED で示されます。 |
| ② 単位切替スイッチ | 外部入力信号時の表示単位切替スイッチで、押す毎に [→FPM→deg→m·sec→] と切替わり、表示部 LED で示されます。 ・FPM …毎分の発光回数を表示します。60.0 ~ 3000FPM ・deg …外部入力に対する発光遅延角度を、一周を 360 度として表示します。この角度は③の設定器で設定します。 ・m·sec…上記の遅延角度を m·sec 単位の時間に換算して表示します。 |
| ③ 設定器 | 発光回数、遅延角度を設定器で、内・外の二重式になっています。 ・外側 …粗調整用で、左右に回す角度が大きいく程、単位時間毎の設定変化量が大きくなります。 ■左右各々、7ステップで変化量が変わります。設定後センターに戻してください。 ・内側 …微調整用で、1回転で 10digit 変化します。 |
| ④ 2倍発光スイッチ | 内部発光の場合、このスイッチを押している間発光回数が 2 倍になります。(表示は変わりません) ※但し、1500FPM 以上で使用している時は、2 倍になりません。 |
| ⑤ 1/2 倍発光スイッチ | 内部発光の場合、このスイッチを押している間発光回数が 1/2 倍になります。(表示は変わりません) ※但し、120FPM 以下で使用している時は、1/2 倍になりません。 |
| ⑥ プラスシフトスイッチ | 内部発光で静止像が得られている時に、このスイッチを押すと静止像が回転方向にシフトします。(1 回転 / 6 秒) |
| ⑦ マイナスシフトスイッチ | 内部発光で静止像が得られている時に、このスイッチを押すと静止像が回転方向と逆の方向にシフトします。(1 回転 / 6 秒) |
| ⑧ 入出力信号コネクタ / 充電用の AC アダプタ用コネクタ | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>DT-315P</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. +12V 出力</p> <p>2. 同期出力</p> <p>3. 入力信号</p> <p>4. 0V</p> <p>5. アキ</p> <p>6. +15V 入力</p> <p>7. 0V</p> <p>8. アース</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>DT-311P</p> </div> </div> |

2. 充電 (初めてご使用になる場合は、必ず充電してください)

DT-315P



電池電圧が低下すると表示部に左図が点灯し、発光が停止します。この場合も上記の要領で充電してください。

1. 電源スイッチを OFF にして、付属の AC アダプタのプラグを電源コネクタに差し込みます。

2. 充電中は B-CH ランプが点灯し、約 2 時間で充電完了となり、ランプが消灯します。

注 1) 電池残量途中で充電した場合も満充電になるとランプは消灯しますが、電池本体の寿命に影響するため、充電はなるべく使い切った状態 (LLLL が点滅) から行ってください。

注 2) AC アダプタを電源として運転しているときは、充電されません。

注 3) 周囲温度が高いときに最高速度近辺で長時間発光させた直後に充電すると、温度上昇保護回路が働き、ランプが点灯しない場合があります。その場合、内部温度が下がるまでしばらく放置した後に、AC アダプタを接続して充電を行ってください。



以下のような充電はしないでください

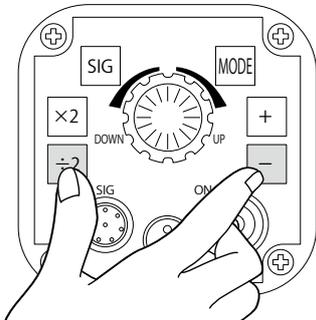
- ・ 付属以外の AC アダプタの使用
- ・ 24 時間以上の充電
- ・ 可燃物近くでの充電

3. 小数点、最高速度、タイマの設定

各設定は電源 ON の状態で行ってください

1 小数点の設定

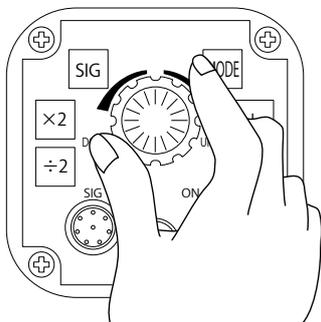
小数点を設定することで、より正確な静止像や回転速度を得ることができます。小数点を設定できる範囲は 60.0 ~ 3000.0 です。内部信号モード時設定可能です。(出荷時は“小数点あり”に設定)



※設定モードに入ると発光は停止します。
 ※電源再投入後も設定値は記憶されています。

2 最高回転速度の設定

最高回転速度を設定することで、調整範囲を任意に決めることができ、素早い設定が可能です。例えば、常に使用する回転速度が 450FPM 前後の場合、最高速度を 500 に設定します。これで設定器を回しても 500 以上は表示せず、目標設定の 450FPM に素早く設定ができます。(出荷時は 3300 に設定)

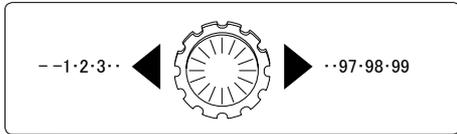


※電源再投入後も設定値は記憶されています。

| 操作 | 表示 | 状態 |
|--|---|------|
| 1 $\div 2$ $-$ 同時に 2 秒間押します。 | 小数点設定モード -- 1 -- 0.0 | 交互点灯 |
| 2 + 押すたびに 0.0 と 0 が切り換わるので 0.0 を選びます。 | 0.0 | |
| 3 MODE 引き続き最高速度を設定する場合は 1 回押して 2 の 3 へ。 | 最高速度設定モード -- 2 -- 3000 出荷時は 3300 に | 交互点灯 |
| SIG 小数点だけを設定する場合は、押すと設定完了です。 | 完了 その時の設定値を表示 | 完了 |
| 1 $\div 2$ $-$ 同時に 2 秒間押します。 | 小数点設定モード -- 1 -- 0.0 小数点あり | 交互点灯 |
| 2 MODE 最高回転速度の設定モードにします。 | 最高回転速度設定モード -- 2 -- 3000 出荷時は 3300 に | 交互点灯 |
| 3 + 押すと交互点灯が止まります。 | 3000 | |
| 4 希望の最高回転速度に設定します。 | 450 その時の設定値を表示 | |
| 5 MODE 引き続きタイマを設定する場合は 1 回押して 3 の 3 へ。 | -- 3 -- -- -- 出荷時は“連続” | 交互点灯 |
| SIG 最高回転速度だけの設定の場合は、押すと設定完了です。 | 完了 その時の設定値を表示 | 完了 |

3 タイマの設定

ランプの消耗防止や充電容量の浪費削減のため、タイマの設定が可能です。設定は、連続：--と1～99分内で設定できます。設定器での調整は、外側でもできますが内側の方が微調整ができ、合わせやすくなっています。



※電源再投入後も設定値は記憶されています。

電源 ON から設定した時間後に発光が停止し、表示が点滅します。続けて使用する場合は電源を再投入してください。連続設定も可能です。

操作

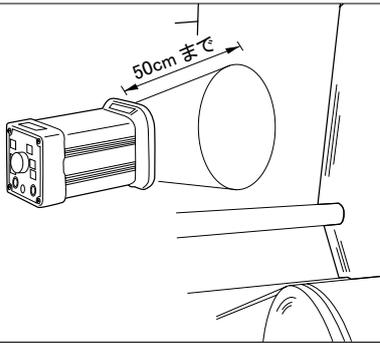
表示

| | | | |
|--------------------|--|------------------------------|------|
| 1 | | 小数点設定モード -- -- 0.0 | 交互点灯 |
| 同時に2秒間押します。 | | | |
| 2 | | タイマ設定モード -- 3 -- -- -- | 交互点灯 |
| 2回押しでタイマ設定モードにします。 | | | |
| 3 | | 出荷時は“連続” | |
| 交互点灯を止めます。 | | | |
| 4 | | 10 その時の設定値を表示 | |
| 希望のタイマ時間に設定します。 | | | |
| 5 | | その時の設定値を表示 | 完了 |
| 設定完了です。 | | | |

注) 4※5※は続けて操作してください。続けて操作しない場合は発光しない場合があります。その場合は電源を再投入してください。

4. 測定方法 INT 内部信号モードで使用するとき

設定器で発光回数を調整する内部信号モードと、外部信号と同期させ発光する外部信号モードの2つの測定方法があります。



■内部信号モード

- 電源スイッチを ON にします。
- INT ランプが点灯していないときは SIG (信号切替) スイッチを押して INT ランプを点灯させてください。この場合は単位表示ランプは自動的に FPM が点灯します。
- ランプを被測定物に向けて照射します。

※被測定体との距離は 50cm までが最適です。
距離が離れると照射像が不鮮明になります。

■回転速度の計測

- 回転速度の計測は設定器を回して行います。



①外側を大きく回して、表示値を概略回転速度に合わせます。回す角度が大きいほど大きく変化します。表示は設定器を右に回すと増加、左に回すと減少します。(設定後センターに戻してください) 次に、少し回して像が反転する位置を求めます。

②内側の微調用を回して像を静止させます。この時の表示値が回転体の回転速度 (FPM) です。

- 静止像が得られたら ×2 ÷2 のスイッチを押します。
- ×2 を押すと、180° 位相のずれた2つの静止像が見えます。
- ÷2 を押すと、ひとつの静止像が同じように見えます。この時、表示値と実際の回転速度が一致しています。

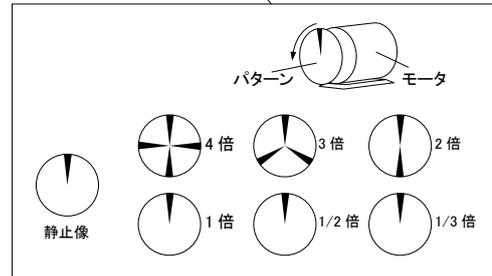
×2 ÷2 は押している間のみ有効です。
×2 ÷2 を押しても表示は変わりません。

注：回転速度と静止像の数について

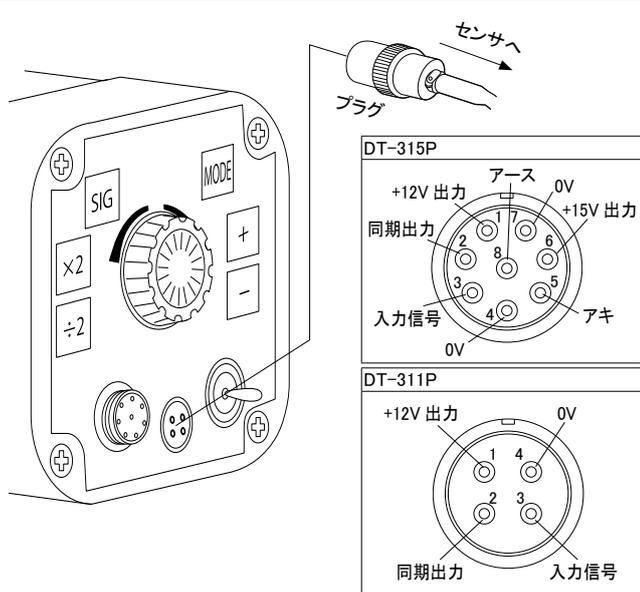
ストロボの回転速度計の特性として、閃光回数（周波数）が被測定体の回転速度数の整数分の1(1/2、1/3...)の場合にも静止像が1つ見えます。また、整数倍(2倍、3倍、4倍...)の場合は、静止像は整数倍になって見えます。予知できない回転速度を測定する場合は、閃光回数を高いほうから少しずつ下げて、最初に1つの静止像が見えた時の値を読んでもらいます。

| 回転体の回転速度 (rpm) | ストロボの閃光回数 (FPM) | 閃光回数 / 回転数 | 静止像の数 |
|------------------|-----------------|------------|-------|
| 600rpm で回転している場合 | 2400 | 4 倍 | 4 |
| | 1800 | 3 倍 | 3 |
| | 1200 | 2 倍 | 2 |
| | 600 | 1 倍 | 1 |
| | 300 | 1/2 倍 | 1 |
| | 200 | 1/3 倍 | 1 |

※実際の回転速度の整数分の1(1/2、1/3...)に合わせた時は同じ様に静止像が見え、整数倍(2倍、3倍...)にあわせた時は位相のずれた重なった静止像が見えますので $\times 2$ / $\div 2$ スイッチを有効に使用して、正しい測定を行ってください。



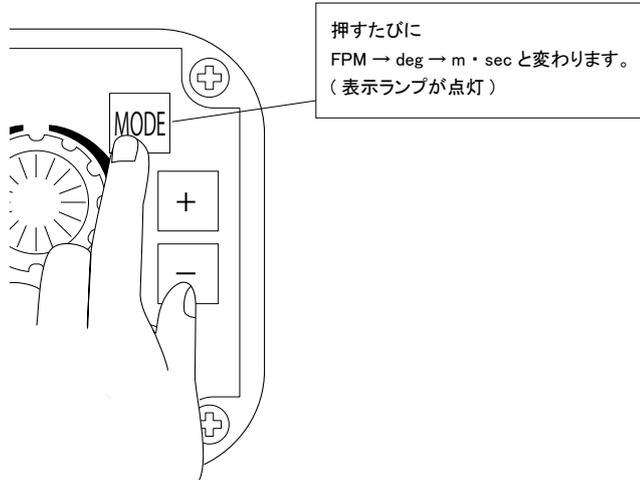
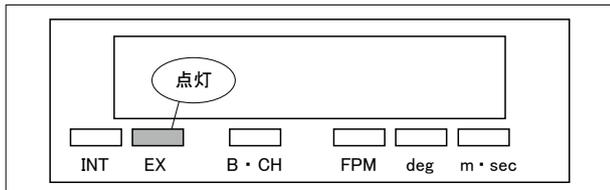
5. 測定方法 EX 外部信号モードで使用するとき



外部信号モード

検出器(1回転1パルスの近接スイッチなど)を回転体と連動して、確実な同期閃光でストップモーションが観察できます。

1. プラグに信号線をハンダ付けし、本体の入出力信号コネクタに接続してください。
(DT-311Pはプラグ付属。DT-315Pのプラグは別売りです。)
2. 電源スイッチをONにします。
3. EXランプ(外部信号モード)の点灯を確認してください。INTランプ(内部信号モード)が点灯した場合は、SIGスイッチ(信号切替)を押して外部同期モードに切替えてください。
4. 単位切替スイッチ MODEを押して動作モード(表示単位)を選択してください。



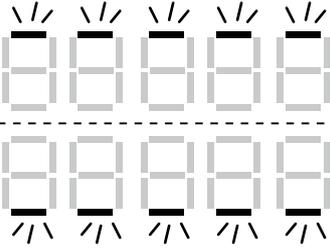
| | | |
|--------------|---|--|
| FPM | 入力信号がLレベルからHレベルに切替わる時に発光します。表示値は入力信号のFPM換算値です。 | |
| deg | 入力信号の1周期を360°として0~359°まで遅延して発光します。表示値は遅延角度です。遅延角度は設定器で変更可能です。 | |
| m·sec | 遅延角度をm·sec単位の時間で表示します。 | |

5. 入力信号周波数が上・下限値を超えた時は、表示値の上・下限のアラームマークを表示して発光を停止します。(次ページ参照)

6. アラームマーク 外部信号モード

表示

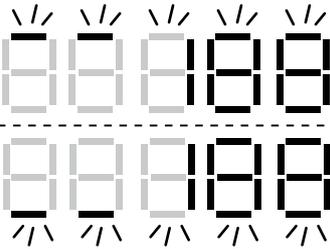
- 入力信号が 55Hz 以上のときオーバーマークが点灯します。



- 入力信号が 0.9Hz 以下のときアンダーマークが点灯します。

deg 表示

- 入力信号が 55Hz 以上のときオーバーマークが点灯します。



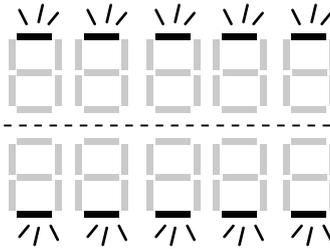
- 入力信号が 3Hz 以下のときアンダーマークが点灯します。

■アラームマーク

外部信号モードで、入力信号周波数が上下限値を超えたとき、図のようなアラームマークを表示して発光を停止します。

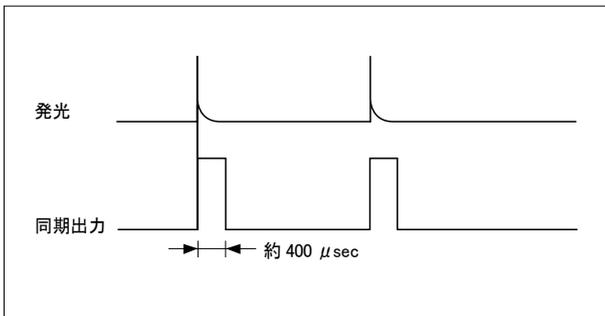
m・sec 表示

- 入力信号が 55Hz 以上のときオーバーマークが点灯します。



- 入力信号が 3Hz 以下のときオーバーマークが点灯します。

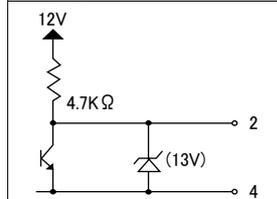
7. 同期信号出力



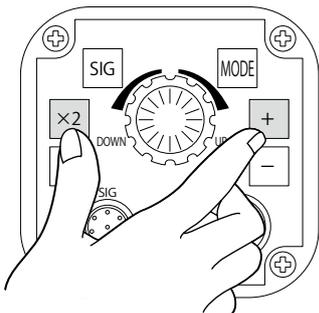
■同期信号入力

複数台同時に発光させて使用する場合(1台から2台まで)やアナログ信号変換器の信号源として利用可能です。入力信号コネクタの2番ピンから同期信号は出力されます。

出力回路



8. メモリ機能

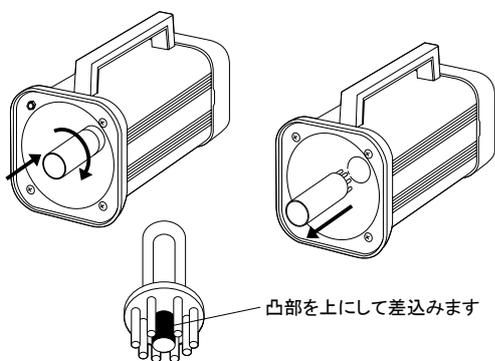
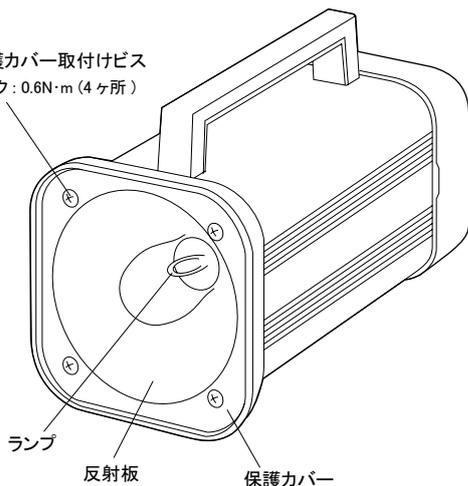


■メモリ機能

最終設定値を自動的に記憶し、電源再投入したときに、この最終設定値を再び表示するメモリ機能が付いています。但し、過大なノイズが印加されるとメモリが失われます。この場合は **×2** と **+** のスイッチを同時に押しながら電源スイッチを ON にしてください。工場出荷時の初期値 (60.0) にメモリが戻ります。

9. キセノンランプの交換

保護カバー取付けビス
トルク: 0.6N・m (4ヶ所)



凸部を上にして差込みます

■ランプ交換

キセノンランプの発光回数の寿命は、約 10^8 回です。

使用中に発光しなくなったり、無音で青白く発光したときは、ランプの寿命ですので次の要領で新しいものと交換してください。ランプは必ず別売りの指定品を使用してください。お求めは当社（お客様サービスセンター）または当製品をお買い求めの販売店までお問い合わせください。



ランプ交換は発光停止後 30 分（ランプが冷えるまで）経過してから行ってください。（停止後すぐに行きますと、ランプが熱く火傷を負う恐れがあります。）

1. 前面の保護カバー取付けビス 4 個を外します。
2. 反射板を外し、脱着工具（交換用ランプに付属）をランプの根元まで差込み、2～3 回時計方向に回してから手前に引くとランプがソケットから抜けます。

※ランプを直接引っ張らないでください。

（割れてケガをする恐れがあります）

3. 新しいランプを脱着工具にはめ、ソケットに差込んでください。
4. 脱着工具を外し、反射板を中央に正しく取付けます。
5. 保護カバーを取付けます。

10. 電池交換

DT-315P

内蔵電池の充電回数寿命は約 300 回です。電池寿命に達すると持続時間が短くなりますので、電池の交換が必要です。当社（お客様サービスセンター）または当社販売店までお問い合わせください。

11. 外部電源

電源電圧が高い場合、HHHHH が表示され発光しません。

外部電源で使用する場合は、別売りのコネクタ (RM15WTP-8S(7)) をご使用ください。

12. キセノンランプ、電池の注文方法

① ストロブスコープの型式 DT-()

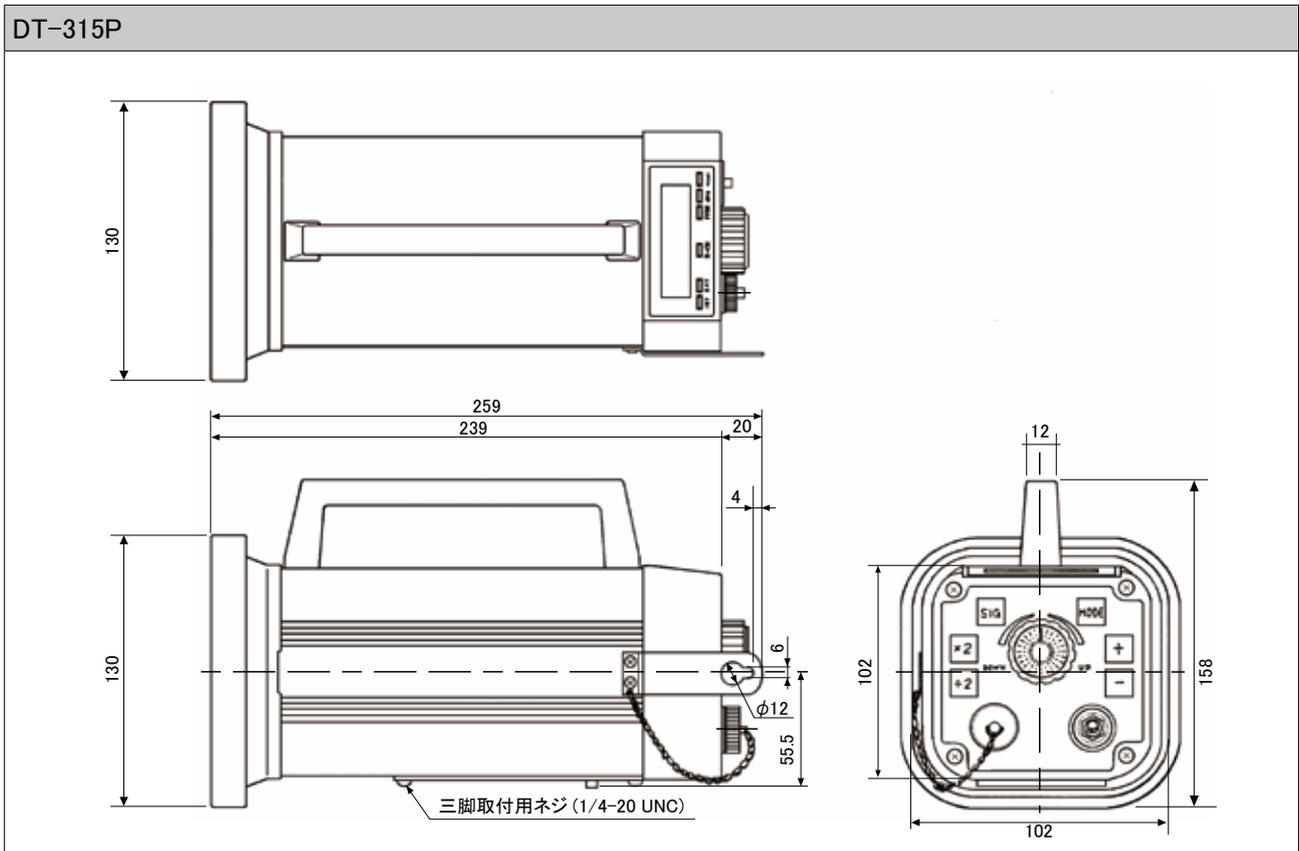
② 製造番号 ()

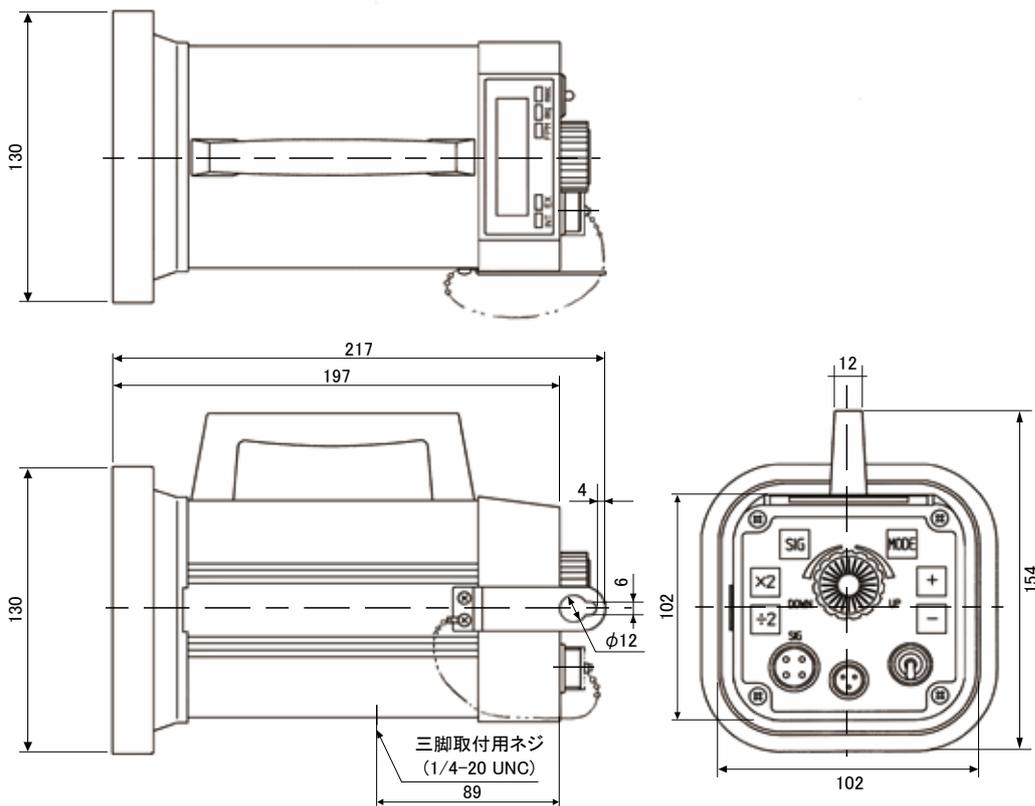
③ 購入年月日 () 年 () 月 () 日

13. 仕様

| 型式 | DT-311P | DT-315P |
|------------|--------------------------------|---|
| 発光回数 (FPM) | 60.0 ~ 3000FPM(60.0 ~ 3000rpm) | |
| 内部発振モード | 設定精度 | ± 0.1rpm : 60.0 ~ 200.0rpm ±0.2rpm : 200.1 ~ 3000.0rpm |
| | ジャンプ機能 | 有 (専用スイッチを押している間だけ、発光回数が 1/2、2 倍になる) |
| | リミット機能 | 有 (1000 ~ 3000FPM で設定可能) |
| | 整数機能 | 有 (小数点を表示、非表示設定可能) |
| | メモリ機能 | 有 (電源 OFF 時の発光回数を記憶し、次に電源を ON したときにその発光回数で発光する) |
| 外部同期モード | 入力信号 | H level : 2.5 ~ 12V L level : 0 ~ 0.4V パルス幅 50 μ sec 以上 立ち上がりエッジでトリガ 入力インピーダンス約 10kΩ |
| | 速度測定機能 | 60.0 ~ 3000FPM |
| | 遅延発光 | 200 ~ 3000FPM |
| | 遅延範囲 | 0 ~ 359° 1°ステップ |
| 表示器 | 5 桁赤色 LED | |
| 同期出力信号 | 電圧パルス出力 | |
| 設定器 | ジョグシャトルスイッチ、タクトスイッチ | |
| 閃光源 | キセノンランプ | |
| ランプ入力 | MAX 10W | |
| 電源 | AC100V ± 10% | 充電式 (ニカド電池) 連続約 1.5 時間発光または、 付属 AC アダプタ (2 時間急速充電) 外部電源 DC9 ~ 16V 2A |
| 発光停止タイマ | 連続 1 ~ 99 分 | |
| センサ用電源出力 | DC12V 40mA | |
| 電源コード | 5m | — |
| 使用周囲温度 | 0 ~ 40°C | |
| 環境 | 防滴仕様 (IP63 相当) | |
| 質量 | 約 1.4kg | 約 1.9kg |
| 付属品 | 入出力信号用メタコン | AC アダプタ兼充電器 |

14. 寸法図





ストロボスコープのQ & A 【動かない、あるいは故障と思われる質問】

| 質問 | 要因 | 原因 | 処置 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---|--|
| 電源を入るとLLLLLと表示し、発光しない (315P) | → バッテリの電圧が低い | → バッテリーが充電されていない | → バッテリーを充電してください |
| 完全に充電したのにすぐLLLLLとなる (315P) | → バッテリーの容量が少ない | → バッテリーの寿命 → バッテリーの故障 → 充電回路の故障 | → バッテリー交換が必要です → お問い合わせください |
| ACアダプタを入れても発光しない | → 電池が消耗している (315P) → 本体に電源が来ていない | → 電池の電圧が下がりすぎている → ACアダプタが接続されていない → ACアダプタが壊れている | → しばらく充電して再度試してください → コンセントに差し込んでください → 修理に出してください |
| ACアダプタを差し込んでいるときは発光するが、抜くと止まる (315P) | → バッテリーの寿命、充電回路の故障 | → バッテリーが充電できない | → バッテリー交換が必要です → お問い合わせください |
| 充電が終わらずCHランプが点灯したままになる (315P) | → バッテリーの寿命、充電回路の故障 | → バッテリーが充電できない | → バッテリー交換が必要です → お問い合わせください |
| 発光がばらつく | → キセノンランプの不良 | → キセノンランプの寿命 → 内部回路の故障 | → キセノンランプを交換してください → 改善しない時は修理に出してください |
| 時々発光が止まる | → キセノンランプの不良 | → キセノンランプの寿命 → 内部回路の故障 | → キセノンランプを交換してください → 改善しない時は修理に出してください |
| 設定器を回しても発光周期が変化しない | → 内部回路の異常 | → 内部回路の故障 | → 修理に出してください |

| 質問 | 要因 | 原因 | 処置 |
|---------------------------|-----------------|-----------------------|---------------------------------------|
| 設定器を回したら表示は変化 するが発光しない | 内部回路の異常 | キセノン発光回路の故障 | 修理に出してください |
| 発光するが表示値と合わない | 内部回路の異常 | 内部回路の故障 | 修理に出してください |
| デジタル表示はするが、発光しない | キセノンランプや内部回路の不良 | キセノンランプの寿命 内部回路の故障 | キセノンランプを交換してください 改善しない時は修理に出してください |
| ランプが発光しない、表示も出ない | 内部回路の異常 | 内部回路の故障 | 修理に出してください |
| 完全に静止しない | 回転速度が設定範囲外 | 最小設定範囲が 0.1FPM のため | 〇〇〇.〇6 など小数点以下 2 位は 設定できません |

ストロボスコープのよくある質問

| 質問 | 説明 | 参考 |
|--------------------------------|---------------------------|-------------------------------------|
| キセノンランプの寿命はどれくらいですか？ | 発光回数約 10 ⁸ 回です | 15000FPM で約 1000 時間です |
| 1回の充電で使用時間はどれくらいですか？ (315P) | 発光速度により異なります | 30000FPM で約 1 時間です |
| 電池の寿命はどれくらいですか？ (315P) | 使用状況や充電間隔により異なります | 完全充放電で 300 回以上です 使用時間が半分になれば寿命です |
| 2m 離れていますが見えますか？ | 回転している物や周りの環境に影響します | デモ機で確認してください |
| ビデオ撮影したいのですが | できません | ビデオ用の信号は出ていません |
| 写真で撮れますか？ | できません | カメラ用の信号は出ていません |
| 200V で使用したいのですが | 国内向けは 100V 仕様です | 汎用型の 315N の充電式は 240V までのフリー電源です |
| 食品関係で使用しますが、洗浄できますか？ | 防水構造ではありません | 洗浄しないでください |
| 防爆の機種はありますか？ | ありません | 現状では作れません |
| RS - 232C は付いていますか？ | 付いていません | 発光の同期信号のみです |

ニデックドライブテクノロジー株式会社

各種 WEB ページご案内



お電話・問合せフォームでのお問い合わせはこちら

<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/inquiry/>



国内外営業拠点情報

<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/corporate/network/sales/>

Copyright NIDEC DRIVE TECHNOLOGY Corporation. All Rights Reserved.

ニデックドライブテクノロジー株式会社

日本電産シンポ株式会社は 2023年4月1日に「ニデックドライブテクノロジー株式会社」に社名変更しました